

大河ドラマを生かした 観光振興基本計画

(案)

令和8年9月

大河ドラマを生かした
博览会推進協議会

目 次

1 現在の状況	2
2 開催概要	3
(1)開催の基本方針	
(2)事業主体	
(3)開催期間	
(4)名称など	
(5)展開イメージ	
3 博覧会の主な取り組み(受入環境整備)	5
(1)イベントの開催や周遊促進策	
(2)地域の観光資源の磨き上げや観光客の満足度向上など	
(3)観光案内機能の強化	
4 博覧会の主な取り組み(誘致・広報など)	7
(1)大河ドラマと連動したプロモーション	
(2)インバウンドの取り組み	
5 博覧会の主な取り組み(各分野との連携)	9
(1)大河ドラマを契機とした取り組み	
6 博覧会の主な取り組み(市町村・広域観光組織)	10
(1)将来にわたって活用できる観光基盤づくり	
(2)地域の歴史観光ガイドの養成	
(3)周遊促進、観光客の満足度向上	
7 博覧会の主な取り組み(県民参加)	12
(1)県民参加によるおもてなしの実践	
(2)学校などと連携した機運醸成	
(3)県内事業者と協働した広報活動など	
8 推進体制	13
名称・ロゴデザイン	15



1 現在の状況

高知県の県外観光客入込数は、大河ドラマ「龍馬伝」を追い風に「土佐・龍馬であい博」を開催した平成22年に、初めて400万人を超え435万人を記録しました。その後も「志国高知 龍馬ふるさと博」や観光キャンペーン「リョーマの休日」の取り組みなどにより、平成24年度からの第2期産業振興計画では、3年連続で400万人を超える入込数を記録しました。

平成28年度からスタートした第3期産業振興計画では、435万人観光の定常化を目標に掲げ、平成29年から開催した「志国高知 幕末維新博」では歴史観光の基盤を整えたことで、2年連続で440万人を超えました。その後の「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」では、本県の強みの一つである自然・体験型観光や、食を前面に出したプロモーションを展開しました。

令和2年から3年にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少しましたが、令和5年には連続テレビ小説「らんまん」の放送に合わせて開催した観光博覧会「牧野博士の新休日」の取り組みなどにより過去最高の472万人となり、令和7年には「あんぱん」の放送の追い風を生かせるよう取り組んだことにより、過去2番目となる457万人を記録しています。

令和6年度からは、「どっぴり高知旅キャンペーン」を開始し、宿泊施設を中心に長期滞在できる観光地域づくりを進めるとともに、地元の人との交流やガイドを通じて地域の「文化」や「暮らし」を伝えることで、観光客の心に残る旅を届けることとしています。

現在、どっぴり高知旅キャンペーンを通じて、県内各地域で体験プログラムや分散型ホテルなど、周遊促進や滞在延長につながる仕組みが整いつつあります。

県外観光客入込数(左軸)及び観光総消費額(右軸)の推移



2 開催概要

(1)開催の基本方針

- ・ 令和10年に放送される大河ドラマ「ジョン万」を、本県の観光振興に最大限に活かし、国際交流の礎を築いた功績と、最後まであきらめない精神を後世に引き継ぐため、博覧会を開催します。
- ・ この博覧会を通じて、国際交流をはじめ、地産外商や移住などの人口減少対策の加速化を図ります。

<博覧会開催の5つのポイント>

- ① 大河ドラマ「ジョン万」放送の追い風をしっかりと受けて、オール高知で観光振興の取り組みを進め、令和10年に県外観光客入込数500万人を目指す。
- ② 県内各地でジョン万次郎ゆかりの観光素材の磨き上げを進め、それらの素材をどっぴり高知旅CPで取り組む体験プログラムや分散型ホテル等と連動させ、中山間地域への周遊や長期滞在を促進する。
- ③ 「日米草の根交流サミット」などの海外ネットワークを交流人口の拡大に活かすとともに、訴求力の高い体験プログラムの造成や情報発信の強化によりインバウンドの取組を加速化させる。
- ④ 観光客の誘客のみならず、博覧会の開催に合わせて、県産品の販売拡大やUIターンの促進も強化することで、人口減少の克服につなげる。
- ⑤ 博覧会を通じて築いた周遊促進や滞在延長の仕組みをレガシーとすることで、将来にわたって中山間地域への誘客につなげる。

現在開催中の『どっぴり高知旅キャンペーン』は、令和9年度までの予定ですが、博覧会とキャンペーンは連動した取り組みを行う必要があると考えています。

そのため、大河ドラマを生かした博覧会の開催期間中においては、『どっぴり高知旅キャンペーン』を暫定延長していくこととし、本県観光の更なる底上げを図ります。

(2)事業主体

大河ドラマを生かした博覧会推進協議会

(3)開催期間

令和9年12月4日(土)から令和11年1月27日(土)まで(予定)

(4)名称

どっぴり高知旅博～ジョン万のふるさとを巡る旅～
※詳細は15ページを参照



2 開催概要

(5) 展開イメージ

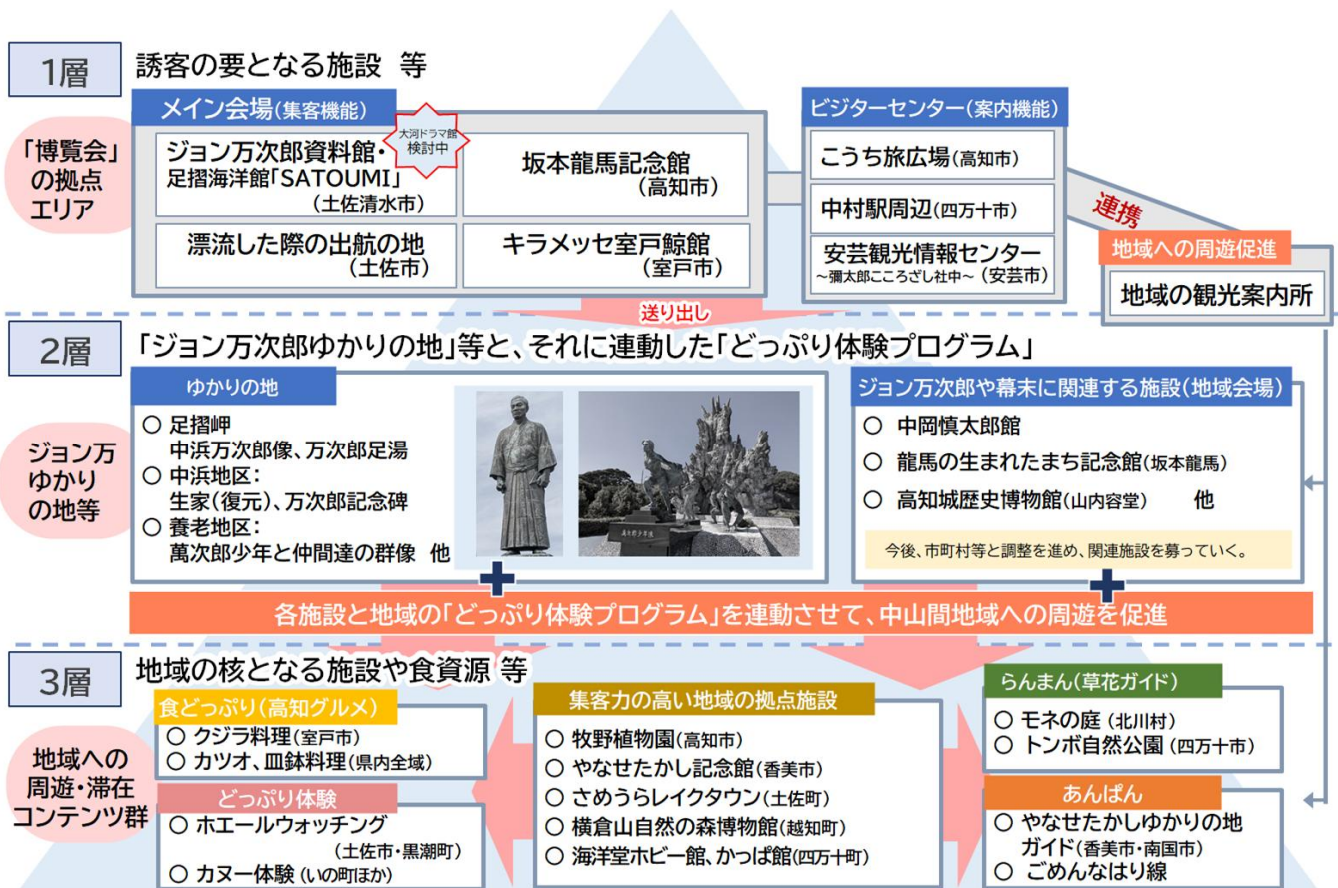
博覧会については、大きく3層の構成により展開することを考えています。

「1層目」は、全国から多くの観光客を呼び込むコアとなる施設として、県外観光客を集客するメイン会場などを位置づけます。そして、主要な交通結節点の周辺施設の案内機能の充実を図り、第1層のコア施設で集客した方を第2層に送り出していきます。

「2層目」は、ジョン万次郎ゆかりの地や幕末に関連する歴史施設などと、地域の「どっぴり体験プログラム」とを連動させ、第1層で集客した観光客をしっかりと受け入れていきます。

「3層目」は、これまでの観光振興の取組により築き上げた施設や食資源などの観光コンテンツ群を位置づけ、各エリアでの周遊を促し、滞在延長につなげていきます。

こうした構成により、より多くの県外観光客を受け入れ、中山間地域への周遊を促し、長期滞在につなげることで、県外観光客入込数や観光総消費額の上積みを目指していきたいと考えています。



3 博覧会の主な取り組み（受入環境整備）

(1) イベントの開催や周遊促進策

博覧会の展開における盛り上がりの創出や、歴史観光施設で企画展の開催などを行い、県外観光客の集客を図り、県内各地への周遊促進や滞在期間の延長につなげます。

① プレ博覧会

- 開幕を迎える約3か月前から、ジョン万次郎資料館をはじめ、歴史観光施設での特別な企画展や、ジョン万次郎ゆかりの地などでイベントを実施し、それに連動して、県内各地域を巡る周遊促進企画を実施することで、県内の機運を高める。

② オープニングイベント

- 博覧会の開幕を全国にアピールする情報発信の機会ととらえ、オープニングイベントの企画・運営に取り組む。

③ 特別イベント事業

- 「幕末」や「食」などをテーマとして、季節ごとに話題性と県外から集客力のあるイベントや企画展を実施するとともに、来場者を県内各地域へ誘導する。

④ 周遊促進事業

- 観光客を県内各地域の歴史観光スポットや観光施設、どっぴり体験プログラム、ご当地グルメなどへ周遊を促す企画を展開するなど、地域での観光消費を拡大させる取り組みを実施する。

⑤ 二次交通対策事業

- 県内各地域の観光施設などをつなぐ移動手段を確保するため、広域周遊が可能なバスの運行のほか、タクシープランやレンタカープランなどの充実を図る。また、交通事業者と連携した企画切符の造成など、公共交通機関の利用促進に取り組む。



3 博覧会の主な取り組み（受入環境整備）

(2)地域の観光資源の磨き上げや観光客の満足度向上など

県内各地域の歴史観光資源を磨き上げるとともに、どっぶり高知旅キャンペーンの取り組みと連動させることで、新たな基盤づくりを進め、あわせて県民が主体となったおもてなし活動を推進します。

①地域支援事業

- 地域の強みを生かし、持続可能な観光地域づくりを推進するために市町村などの取り組みに対して、アドバイザー派遣による支援などを通じて、企画力や実行力の向上を図るとともに、受入環境の整備を進める。
- ジョン万次郎にゆかりのある観光地などにおいて、市町村の観光クラスター計画に基づき整備する観光客向け駐車場や広域看板の設置等を支援する。
- 博覧会と連動したイベントの開催や周遊促進策の展開、地域資源を生かした観光消費拡大の取り組みを支援する。

②渋滞対策事業

- メイン会場を中心に、特に多客時に混雑が予想されるエリアにおいて、渋滞緩和策を講じ、観光客の満足度向上を図る。

(3)観光案内機能の強化

県内の旬の観光情報を提供できるよう、市町村などと連携した取り組みを推進します。

①地域への周遊を促すインフォメーション機能の強化

- 観光客を県内各地域に誘導するため、中村駅や高知駅など、主要な交通結節点の周辺施設の案内機能(ビジターセンター機能)を充実させる。
- 観光客がジョン万次郎ゆかりの地のほか、県内各地域の観光施設やイベント、歴史、食、どっぶり体験プログラムなどの情報を容易に取得できるよう、市町村などと連携した取り組みを強化する。



4 博覧会の主な取り組み（誘致・広報など）

(1) 大河ドラマに連動したプロモーション

高知県や高知県観光コンベンション協会と連携を図り、ジョン万次郎ゆかりのスポットやどっぴり体験プログラムに加えて、高知ならではの歴史・食・自然などの魅力と連動させたプロモーションを全国に向けて展開します。

① マスメディアを活用した広報

- テレビ、新聞、雑誌などのマスメディアによる露出の拡大に取り組み、全国での話題化を図る。
- ジョン万次郎のふるさと・高知の認知度を高めるため、テーマ性や物語性を持った効果的な情報発信を行う。
- 気軽に週末観光を楽しめる近隣県に向けて、歴史観光やイベント情報に関するきめ細かいプロモーションを行う。

② 特設Webサイト、SNSの活用

- 特設Webサイトをはじめ、X、インスタグラムなどのソーシャルネットワーキングサービスを活用した情報発信に取り組む。

③ PRツールの活用

- キャッチコピーやロゴマークの活用のほか、ポスターやのぼり旗の掲出など、観光施設をはじめ県内事業者の協力のもと、県内全域で一体感を持った情報発信を行う。



4 博覧会の主な取り組み（誘致・広報など）

④高知県、高知県観光コンベンション協会との連携

- 旅行会社へのセールス活動やFAMツアー※、誘客インセンティブ実施などを通じて、高知県を目的地とした旅行商品の造成と充実を目指す。
※ FAM(ファミ)ツアーとは、「Familiarization Tour(親睦・習熟ツアー)」の略称で、観光地が誘客やプロモーションを目的に、旅行会社やメディアなどを招待して実施する「下見・モニターツアー(招待旅行)」のこと
- JR高知駅南側にある「こうち旅広場」における主催イベントでは「ジョン万次郎」や「幕末」の要素を意識して実施する。また、施設内での博覧会に関連する案内を充実させる。
- 龍馬パスポートを活用した企画や、土佐の偉人ゆかりの地を巡る企画を実施する。
- 県外のジョン万次郎ゆかりの自治体が開催するイベントとの連携をはじめ、大河ドラマに関係の深い地域と連携したプロモーションの展開を図る。
- 観光客を県内各地域に誘導するビジターセンターの機能強化を図る。(再掲)
- 観光客がジョン万次郎ゆかりの地のほか、県内各地域の観光施設やイベント、歴史、食、どっぷり体験プログラムなどの情報を容易に取得できるよう、市町村などと連携した取り組みを強化する。(再掲)
- 観光客が目的地に容易にたどりつけるよう、各地域の交通情報の提供に取り組む。
- 県が協定を締結している事業者をはじめ、県内外の民間事業者と連携した広報に取り組む。

(2)インバウンドの取り組み

アメリカをはじめ、台湾や韓国などの重点市場や客船利用者をターゲットとしたプロモーションの展開に加えて、インバウンドの誘客と受入環境の整備に取り組みます。

⑤インバウンドの誘客促進

- 自然(清流)・食・文化を中心としたジョン万次郎のふるさと・高知の魅力を海外に発信する。
- 米国の旅行会社に向けたセールスやFAMツアーを実施する。
- ジョン万次郎に関する歴史やストーリーを解説できる地域通訳案内士を育成する。
- 市町村などが実施する、Wi-Fiやキャッシュレスの整備、多言語表示などのインバウンド受入環境整備を支援する。
- 多言語による商品案内表示やキャッシュレス化などを促進し、インバウンドの消費拡大を図る。



5 博覧会の主な取り組み（各分野との連携）

(1)大河ドラマを契機とした取り組み

大河ドラマを契機に、海外ネットワークなどとの交流人口の拡大を図るとともに、県産品の販売拡大やUIターンの促進を強化します。

①国際交流の推進

日米草の根交流サミット2027高知大会の開催を通じたジョン万次郎のふるさと・高知の海外への発信

- ジョン万次郎とホイットフィールド船長との友情を原点に開催されている草の根交流サミットを、ジョン万次郎の生誕200年にあたる令和9年5月に開催する。
- 大会終了後も、大会主催者などと連携し、アメリカからの参加者や国内外の関係者に博覧会の情報提供を行う。

国際交流友好ネットワークを活用した情報発信

- 姉妹交流都市、海外県人会、自治体国際化協会、JETプログラム参加者などへの情報発信を行う。

②県産品の販売拡大の推進

商品づくりへの支援

- 効果的な情報の提供などにより、県内事業者における関連商品づくりを促進するとともに、付加価値を高める取り組みに対する支援を行う。

販売活動の促進

- 県産品の魅力の発信やセールス活動において、博覧会と連動した展開を行うことで、県産品のさらなる販売拡大につなげる。

③UIターンの促進

移住相談会の開催などによるマッチングの強化

- 大河ドラマの知名度を生かした移住ツアーや相談会などを開催し、UIターンの促進につなげる。

関係人口や移住関心層の裾野を広げる情報発信

- 移住ポータルサイトや「ふるさと住民登録制度」などを活用した情報発信を強化することで、本県と継続的な関係性を築く関係人口の拡大につなげる。



6 博覧会の主な取り組み(市町村・広域観光組織)

(1)将来にわたって活用できる観光基盤づくり

- 大河ドラマ放送を契機に、ドラマのテーマと親和性の高い歴史や、海のつながりなどを生かした観光資源の掘り起こしや磨き上げを進め、魅力のある観光地づくりを推進する。
- 県内各地域のジョン万次郎ゆかりの地や、幕末を中心とした歴史観光が楽しめるスポット、どっぷり体験プログラムと、地域ならではの食、自然などを一体的に周遊するコースづくりを行い、将来にわたって活用できる観光基盤の造成に取り組む。

(2)地域の歴史観光ガイドの養成

- 県内各地域で歴史観光を生かした観光地づくりを推進するにあたり、各地域の歴史の魅力はもとより、地域で代々受け継がれてきたストーリー(ジョン万次郎と地域の偉人との関わり、ガイド自身が地域で活動する想いなど)をセットで解説できるガイドの養成に取り組む。
- 地域の食や歴史、自然体験などを一体的に組み込んだガイドコースの造成や、周辺の観光情報を積極的に提供することで、地域内の観光消費が高まる取り組みを推進する。



6 博覧会の主な取り組み(市町村・広域観光組織)

(3) 周遊促進、観光客の満足度向上

- 中山間地域の分散型ホテルや周辺のどっぷり体験プログラム、観光資源を一体的に案内することで、滞在時間の延長や中山間地域への周遊、リピーターの確保につなげられるよう、各地域の拠点施設の観光案内機能を強化する。
- 広域観光組織などと連携し、デジタルツールなどによる案内機能強化などの施策を検討する。

[参考] 市町村の取り組みに対する県からの支援

- 地域の強みを生かし、持続可能な観光地域づくりを推進するために市町村などの取り組みに対して、アドバイザー派遣による支援などを通じて、企画力や実行力の向上を図るとともに、受入環境の整備を進める。(再掲)
- 博覧会と連動したイベントの開催や周遊促進策の展開、地域資源を生かした観光消費拡大の取り組みを支援する。(再掲)
- ジョン万次郎ゆかりの地や歴史文化施設の整備、歴史観光ガイドの養成、観光案内機能の強化などに取り組む市町村に対し、アドバイザーの派遣や財政的な支援を行う。
- Wi-Fiやキャッシュレスの整備、多言語表示などのインバウンド受入環境整備の支援を行う。(再掲)
- 産業振興や地域の活性化に関する取り組みに関して、産業振興推進地域本部を中心として各種支援を行う。



7 博覧会の主な取り組み（県民参加）

(1) 県民参加によるおもてなしの実践

- どっぴり高知旅キャンペーンにおいて造成してきた、地域ならではの「文化」や「暮らし」、ガイドや交流を通じて届けるどっぴり体験プログラムを、多くの方に楽しんでもらえるよう取り組みを進める。
- どっぴり高知旅キャンペーンで進めている「土佐弁でのおもてなし」を継続して推奨する。また、国際人・ジョン万次郎に倣い、外国人観光客に対して平易な英語で挨拶する、といったおもてなしを検討する。

(2) 学校などと連携した機運醸成

- 学校においてジョン万次郎の精神や功績を学ぶ機会を増やし、「地域への理解と愛着を育むキャリア教育」や、「グローバル教育」の充実を図る。また、県内事業者などと連携した商品づくりに取り組む。
- 大河ドラマを契機とした本県への関心の高まりを捉え、本県の高校の特色や魅力を県外に広く周知する。
- 高校生や大学生などの若い世代に観光ガイドとして関わってもらえるよう、ガイド養成やスキルアップに向けた支援を行う。

(3) 県内事業者と協働した広報活動など

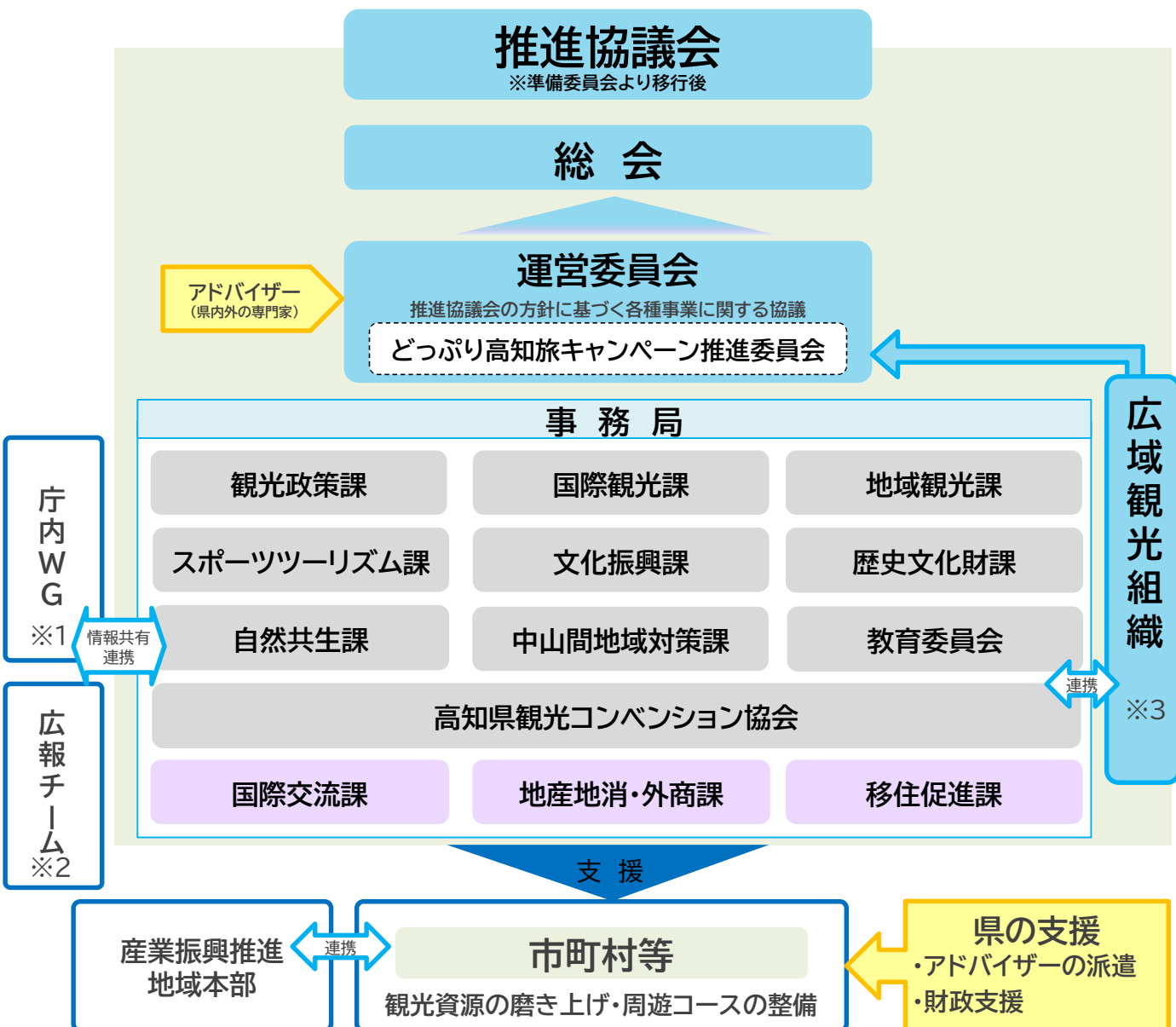
- 県内事業者と協働し、オール高知での広報や機運醸成の取り組みを検討する。



8 推進体制

① 推進協議会の設置

推進協議会を設置し、下部組織として運営委員会を置く。事務局は、県観光振興スポーツ部各課及び関係課のほか、高知県観光コンベンション協会などが担う。



※1 庁内WG:県庁内の知事部局と教育委員会の副部長級で構成するワーキンググループ

※2 広報チーム:高知県地産外商公社や県外事務所の担当で構成するチーム

※3 広域観光組織:複数の市町村を活動エリアとし、広域的な観光地域づくりを担う一般社団法人。

高知県東部観光協議会、物部川DMO協議会、土佐れいほく観光協議会、仁淀ブルー観光協議会、奥四万十高知、幡多広域観光協議会の6法人。



8 推進体制

②推進協議会の役割

- 事業計画の策定・実施に関すること
- 事業の広報及びPR活動に関すること
- 関係団体等との調整に関すること
- 前各項目のほか、事業の目的を達成するために必要なこと

③事務局の主な業務

- 観光政策課
 - ・推進協議会、運営委員会に関すること
 - ・事務局の総括に関すること
 - ・セールス及びプロモーションに関すること
 - ・主催イベントに関すること
- 国際観光課
 - ・外国人観光客の誘客・受入態勢整備の推進に関すること
- 地域観光課
 - ・観光資源の磨き上げ、ガイドの養成等、市町村の受入環境支援に関すること
- スポーツツーリズム課
 - ・スポーツツーリズムの推進に関すること
- 文化振興課 / 国際交流課 / 歴史文化財課
 - ・県立文化施設等に関すること
 - ・国際交流の推進に関すること
 - ・歴史施設に関すること
- 地産地消・外商課
 - ・県産品の販売拡大の推進に関すること
- 移住促進課
 - ・UIターンの促進に関すること
- 自然共生課
 - ・自然公園に関すること
- 中山間地域対策課
 - ・中山間地域の活性化に関すること
- 教育委員会
 - ・学校における学び等に関すること
- 高知県観光コンベンション協会
 - ・博覧会の事業推進に関すること



<名称>

高 知 県 観 光 博 覧 会

どっぷり高知旅博

～ ジョン万のふるさとを巡る旅～

○考え方

- ・大河ドラマ「ジョン万」の放送を契機として「高知」で観光博覧会が開催されていることが、分かりやすく伝わるものであること
- ・現在展開中の「どっぷり高知旅キャンペーン」との連動性や整合性が図られたものであること
- ・NHKの了解が得られるものであること（了承済）

<ロゴデザイン>



○考え方

- ・どっぷり高知旅の「ど」に、ジョン万次郎本人がレタリングしたアルファベットを調整したデザインをベースに、ジョン万次郎のトレードマークである帽子をアイキャッチとして取り入れ、わかりやすく表現したロゴマークです。
- ・大きな帽子と特徴的なタイポグラフィーで印象的なデザインとしています。

【事務局連絡先】

高知県観光振興スポーツ部観光政策課

大河ドラマを生かした観光振興基本計画担当

電 話 : 088-823-9606 FAX : 088-823-9256

Email : 020101@ken.pref.kochi.lg.jp